

NO. 14 「達人に学ぶ① ～書道の授業～」

令和4年7月12日

7月11日（月）東能勢小中学校で「書道」の授業が行われました。箕面市の小学校長をされていた新貝廣二先生をゲストティチャーにお招きし、中学校校舎で5～6年生、小学校校舎で3～4年生に指導をしていただきました。

大阪市内から電車・バスを乗り継ぎ2時間余りかけて来ていただいています。「ここは緑がきれいし、子ども達とやる書道、最高です！」と先生談



6年生のお兄ちゃん、お姉ちゃんの書いた「湖」は参考になるよ。



「1時間で3枚の半紙を使うよ、最初に2枚に名前を書こう。」



今日は「またか」1字を書くよ。「マ」「田」「カ」だよ。
「マ」はギュと縮める 「田」の縦線は力強く 「カ」はスタイリッシュに



「しっかり話を聞いているから、今日は息の使い方を教えるよ。」
「田」の真ん中の縦線（**繊細な線を書くとき**）→**息を止めて書くよ**



「よーし、練習用の半紙に書いてみよう！」



字と名前と判子が揃って作品になるよ。

「体重をいっぱいかけて、そうそうそうだ！うまく押せたなあ！」

新貝先生は、豊能地区を中心に10数校の小学校で「書道」の指導をされています。豊能町では、3年前から東能勢小学校で指導をしていただき、昨年度からは「光風台小学校」でもお世話になっています。2ヵ月に1度のペースで来て指導いただき、子ども達は「書道」の時間を楽しみにしてくれています。